

令和4年度第4回 伊那市総合教育会議会議録

- ◎招集年月日 令和5年3月17日（金）
◎開催日時 令和5年3月23日（木） 午後1時30分～3時
◎場 所 伊那市役所 庁議室
◎出席者 白鳥市長、笠原教育長、北原職務代理者、田畑委員、原田委員、黒河内委員
◎欠席者 なし
◎出席職員 馬場教育次長、宮下学校教育課長、北林生涯学習課長、早川市誌編さん室長、
小島社会教育指導員、福興指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

馬場教育次長

定刻となりましたので、ただいまから今年度第4回目の総合教育会議を開催してまいります。
始めに白鳥市長からご挨拶をお願いいたします。

2 市長あいさつ

白鳥市長

先日の春の高校伊那駅伝は盛況のうちに無事終了することになりました。参加した皆さんも生徒も、先生も、私達も、非常に充実した駅伝でした。協力に対しまして感謝申し上げます。

これから桜の時期ということで、25日に公園開き、その日が開花宣言という予定ですが、また全国からお見えになって、賑わいがまた始まる季節となります。

今日は市誌編さんの状況、学校登山等についてお話をする予定です。よろしくお願いいたします。

馬場教育次長

ありがとうございました。続いて教育長からご挨拶をお願いします。

笠原教育長

本年度4回目になります。この会は市長とともに子どもたちの学び、また生活や市民の皆さんの学びについて一緒に考えさせていただける機会です。私達にとって大変ありがたい、そのように思っているところです。

本日は、市誌編さん委員会の春日委員長さん畑委員さん、また伊那の豊かな山岳資源と関わる学校登山について、これは感染症の影響が依然として残るわけですが、来年度の計画が出てきています。本日も子どもの育ちや取組において、また私どもの取組にも関わって考えていただき、そういう機会として大事にしてもらいたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

馬場教育次長

ありがとうございました。それでは協議事項に入りたいと思います。

ここからは市長の進行をお願いいたします。

4 協議事項

（1）市誌編さんにおけるデジタル技術の活用について

白鳥市長

市誌編さん事業は伊那市にとって政治的な事業となりますので、力を注ぎながら、予算もかけながら、良いものを作っていきたい、という思いで進めています。その状況について早川室長から説明をしてもらい、また委員長と畑さんの方からも話をお聞きします。お願いします。

早川市誌編さん室長、春日利比古委員長、畑美樹委員

市誌編さんにおけるデジタル技術の活用について説明

白鳥市長

ありがとうございました。ご質問ご意見をいただく前に、春日委員長から圧倒的な財政支援の話がありましたが、その点については心配無きよう、しっかり支援させていただきます。何かご意見、ご質問でも結構です。

黒河内委員

説明を伺いまして、デジタルアーカイブの可能性を感じました。図で書かれたようないろんな分野で使われるようになっていって欲しいと思います。現在の課題、計画通りにいったら何か足りない、どういった支援が必要か、そのあたりはどうでしょうか。

早川市誌編さん室長

冊子の発行は令和 7 年度を皮切りに進めていく計画です。このデジタル化の部分については、こういったものを、どのように活用できるようにシステム化していくのか、蓄積していくのかについては、令和 5 年度中に組み立てする中で、必要なもの、必要な方法、手立て、経費に関わる部分が出てくると思いますので、そういった部分も調整しながら進めていきたいと思っています。

市誌が発行されたらそこでおしまいではなく、継続して蓄積していかないと、今後の活用という部分については意味がないので、その辺りを伊那市として、どう踏み出せるのか詰めていく必要があります。

また、今は伊那市誌という視点から資料を整えていますが、これが防災などの資料的価値があり、いろいろな分野でこういったものが使えるのか把握をしていく必要があります。令和 5 年度で何が必要なのか把握し、ある程度の目標設定は必要だと思いますので、皆さん方からご意見いただいて、進めていきたいと考えています。

白鳥市長

市誌はどこでも同じようなものを作っていますが、結局作った段階で、それ以降は空白になっているので、今回は伊那市で考えているのがそれをデジタルアーカイブにしながら、その後も追加をしていくという考え方です。

早川市誌編さん室長

指針についてのお話をさせていただいたときに、田畑委員からお話ご意見いただいたもので、現在、30 年、50 年等の間隔で市誌を作っています。30 年、50 年経ってから振り返り、そこからまた集めるよりは、毎年、市誌に載せようという部分を蓄積していくと、30 年経ったときにもっとやりやすくなるだろうし、わかりやすくできるだろうというご意見をいただきました。まさにそのとおりであって、今後、市役所の中でもそういった論点、視点を持って業務ができていくと、資料の蓄積、アーカイブしていく上でも、スムーズに、スピーディーにできるものと考えています。

白鳥市長

とても良いやり方だと思います。例えば矢澤章一さんのアーカイブや古文書が検索できるとよいと思います。

早川市誌編さん室長

いろいろな分野、写真、古文書など、いろいろな媒体形のもの、音声や映像、ケーブルテレビさんの映像、市役所の広報担当者が撮影した写真もあり、使えるものはたくさんあると承知しています。

白鳥市長

その他どうでしょうか。

北原職務代理者

市役所全体でプロジェクトチームを立ち上げるとあるが、デジタルアーカイブ化されたものは固定ではなくどんどん広がったり深まったりすると、それを、いつ、どのように、管理、調整していくかが重要になると思いますが、もし構想があればお聞きしたいと思います。

早川市誌編さん室長

市誌編さん事業が落ち着いてから、継続して管理、調整など具体的に動けるとよいかなと考えています。

長野市や松本市では市誌編さん事業で得られた資料は、公文書も含めてどう管理をして活用していくのか、文書課や公文書館を作って運営しています。

デジタルを使えば、わざわざ大きな建物なものが不要となる。現在、市誌編さん業務の中で、同時に今後のデジタルについて考えることはできないが、今後、考えていきます。

白鳥市長

市誌編さんの現状、今後の方向について意見をいただきました。今後、進捗状況を説明してもらえればと思います。ありがとうございました。

(2) 学校登山について

白鳥市長

続きまして、学校登山について説明をお願いします。

宮下学校教育課長、福與指導主事

学校登山の状況について説明

白鳥市長

この令和5年度の計画は一泊後までの予定が春富中学校のみですか。

福與指導主事

そのとおりです。去年もそうですが、春富中学校はうまく宿泊が取れたということです。本当は令和4年度に宿泊する予定でしたが、天候不順で実施できなかったのもので、来年度、もう一度そ

れをやってみるということで春富中は計画しています。

白鳥市長

西箕輪中学校ぐらいであれば西駒山荘に泊まれるのでは。

福與指導主事

基本的に、令和5年度は、宿泊を基本的には認めていない状況と思います。

北原職務代理者

山荘の規模から考えると、西箕輪中、伊那中は、十分宿泊できると思います。そのところは、今までのこととコロナを考えてどのように決定しているのか、そのあたりはいかがでしょうか。

福與指導主事

詳細を確認していませんが、コロナの状況がわからない中で、来年度の予約は最近ではなく、令和4年の10月、11月ぐらいに予約を始めてしまうので、その辺も踏まえて山荘との話の中でこの規模になっていると聞いています。

白鳥市長

山荘に相談されていますか。各学校にはぜひ泊まりでやってほしいと思います。日帰りが普通と判断をしないようにして欲しいという考えです。

福與指導主事

最初から日帰りで行こうとしたのではなく、これは調整の中でこういう状況になったと理解しています。宮田観光開発では、ようやく分宿という形であれば中学校の登山も受け入れを考えていただける話になってきたと聞いています。

白鳥市長

例えば仙丈小屋と馬の背ヒュッテに分けて泊まることもできるので、西駒以外にも選択としてはあると思います。今後、この日帰りが一般的になれば、宿泊は戻りません。そうならないようガイドや医療関係者、消防署の職員をつけて、先生の負担を減らす方向で進めています。学校の方にも再度伝えてもらいたいと思います。

笠原教育長

この中学校の登山については、市内の校長たちは、何らかの形で、宿泊を取り入れながら考えたいとしておりましたので、今の内容でもう一度、どんな状況か確認したいと思います。

白鳥市長

一般の登山者については、学校優先で予約を受け付けないということでも良いと思います。伊那市で所有している山小屋なので伊那市の子ども達のために使ってほしい。一般の皆さんが宿泊するから泊まれませんかではなく、学校等のために一般の方をご遠慮くださいというスタンスでも良い。仙丈小屋と馬の背ヒュッテと合わせて使えばかなりの人数が泊まれるので、その辺を徹底して、継続して、検討してもらいたいと思います。

白鳥市長

このことについてご意見ありますでしょうか。

田畑委員

この地に生まれた中で、本格的な登山を体験できるというのは、本当にその 1 回という同世代が多いので、この体験というのは小グループに分けても、実際に自分の足で登るっていう経験はぜひ欲しいと思います。

白鳥市長

そのために何が必要なのかを言ってもらえれば、バックアップ体制を整えます。1つの学校に複数のガイドが必要であればそれもOKです。医師についてもお願いできると思います。教師の負担について、先生にすべて任せるつもりはないので、自分が登れる程度の体力をつけてもらい、あとはガイドや消防署職員、そういう皆さんが支援をします。実施時期は秋の安定した時期でもよいと思います。やるためにどうしたらいいのか、ぜひ考えてもらいたいと思います。

(3) その他

白鳥市長

その他、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

5 閉会

馬場教育次長

全体を通じて何かよろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして第4回目の総合教育会議を終わりたいと思います。お疲れ様でした。